

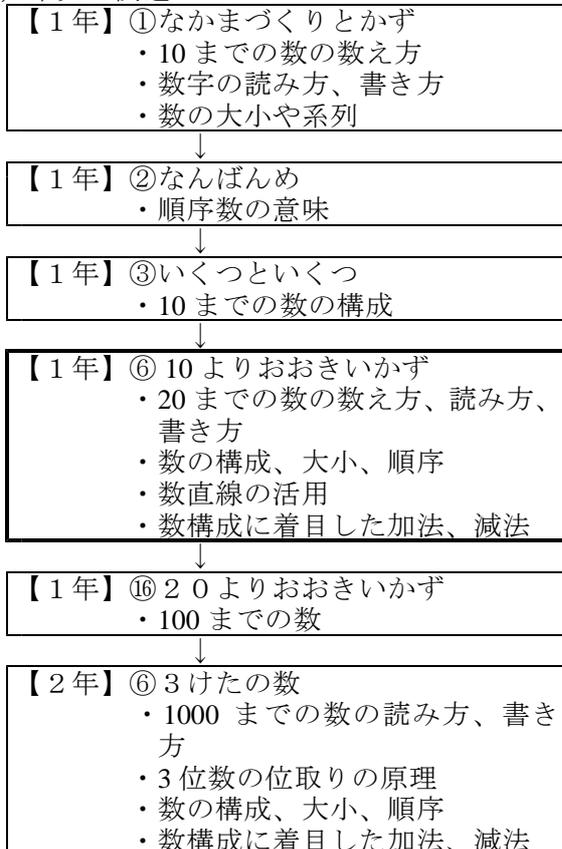
# 第1・2学年 算数科学習指導案

日時 2012年6月29日(金) 2校時  
 児童 1学年2名 2学年6名 計8名  
 授業者 舩 谷 浩 美

## 第1学年

- 1, 単元名  
「6, 10よりおおきいかず」
- 2, 指導観  
 これまで具体物、半具体物を数える活動を通して10までの数の読み方、書き方、数の構成などを学習してきた。本単元では、10を超えた数についても数の性質はこれまでと同じであることを理解させていく。そして、数を10のまとまりと10に満たない端数がいくつとらえることを通して、具体物から半具体物、そして抽象的な数へと進み、段階を追って数の意味の理解を深める。  
 本学級の児童は、10までの数を数えたり読んだりすることは身につけている。たしざんやひきざんは指を使いながら計算することが多いが、式の形式にも慣れてきた。数の構成については算数ブロックや数カードを用いて学習をしていったが、数の感覚が十分でない児童もいる。  
 本時は具体物を10のまとまりをつくりながら確実に数えられるようにしていく。そして、ブロックと数字で確認することによって、10を超えた数の理解を深めるようにしていきたい。また、児童の生活体験を考慮しながら、2とびや5とびの数え方にも慣れさせておきたい。

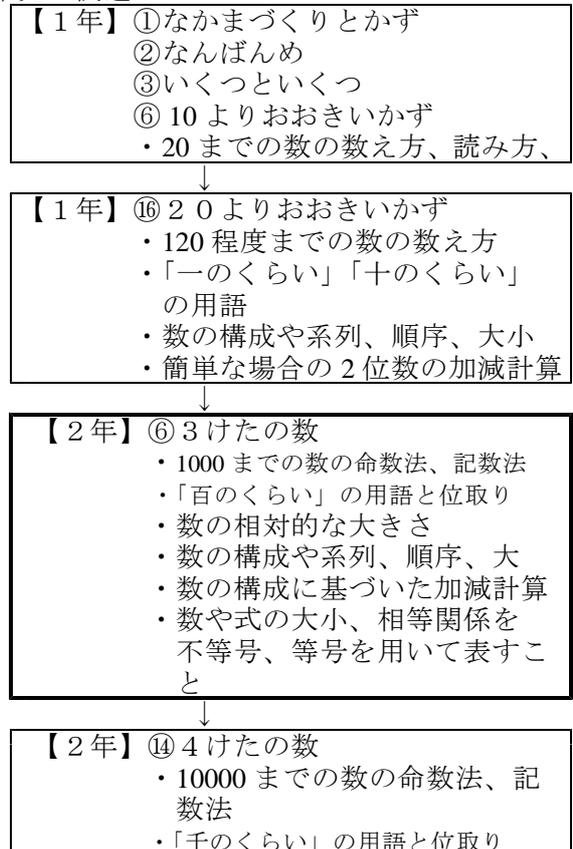
### 3, 単元の関連



## 第2学年

- 1, 単元名  
「6, 100より大きい数をしらべよう」
- 2, 指導観  
 1学年で100までの数について学習し、本単元で数の範囲を1000まで拡張する。この場合も100までの数と同様に数の読み方、書き方、及び数の系列、順序、大小、数の相対的な大きさや数の構成を学習する。さらに、数や式の大小、相等関係を不等号、等号を用いて表せるようになることや何十、何百の計算を取り上げていく。  
 本学級の児童は活動的で新しいことに興味を持って取り組む。自分の意見を主張し友だちの意見を聞き入れなかったりすることがあり、協力しながら学習を進めていくことに弱さが見られる。数については読んだり、書いたりすることや大小については理解できているが、数の順序や構成についてきちんと答えることができない児童もいる。  
 本時は3位数の各位の数字は、それぞれ100、10、1の単位の個数を示し、10以上の数が入らないことを理解させていきたい。そのことが位取りの仕組みや構成につながるように、各自の数カードの操作活動とPCを使っての活動を組み合わせて学習を進めていきたいと考えている。

### 3, 単元の関連



↓

【2年】⑭4けたの数

- ・10000までの数の読み方、書き方
- ・4位数の位取りの原理
- ・数の構成、大小、順序

・数の相対的な大きさ

・数の構成や系列、順序、大小

↓

【3年】⑧大きい数のしくみ

- ・1億までの数の命数法、記数法
- ・位取りの原理
- ・数の相対的な大きさ
- ・数の構成や系列、順序、大小
- ・十進位取り記数法の仕組み
- ・10倍、100倍、10でわった数の表し方
- ・用語「数直線」「等号」「不等号」

4, 単元の見積

20までの数について、個数の数え方、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができるようにする。

- 5, 評価規準
- 〈関心・意欲・態度〉
- ・10をひとまとまりにして数えるよさに気づき、ものの個数を数えようとする。
  - ・20までの数の構成を基に、数え方や計算の仕方などに活用しようとする。
- 〈数学的な考え方〉
- ・20までの数を10といくつとみて、数え方や読み方、書き方などを考え、表現することができる。
  - ・数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、表現することができる。
- 〈技能〉
- ・20までの数について数えることができ、数を読んだり書いたりすることができる。
- 〈知識・理解〉
- ・20までの数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。
  - ・20までの数の構成を、加法や減法の式に表せることを理解する。

4, 単元の見積

100までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深めるとともに、数を用いる能力を伸ばす。

- 5, 評価規準
- 〈関心・意欲・態度〉
- ・10や100のまとまりにして数えるよさに気づき、十進位取り記数法と関連づけてとらえたり、計算の仕方に活用したりする。
- 〈数学的な考え方〉
- ・十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりすることができる。
- 〈技能〉
- ・3位数について、書いたり読んだりするとともに、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表すことができる。
- 〈知識・理解〉
- ・3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解する。

4, 指導計画

1年生(全9時間)

次	時	学習内容	評価					
			関	考	技	知		
1次	1	20までの数の数え方、唱え方を理解する。				○	・20までの数について、数詞を唱え、数えることができる。	観察 発言
	2	20までの数の読み方、書き方を理解する。				○	・20までの数について、数え方や数の読み方、書き方を理解している。	観察 発言 ノート
	3 本時	20までの数の数え方の理解を深める。	○				・20までのものの数を工夫して数えようとしている。	観察 発言
	4	20までの数の構成を理解する。			○		・20までの数について、10といくつに分解することができる。	観察 発言 ノート
2次	5	数直線を知り、数を表せることや、20までの数について				○	・数直線の特徴や性質を理解している。	観察 ノート
	6							

		の大小や系列を理解する。						
3次	7	20までの数の構成を和や差でとらえ、10と1位数の加法とその逆の減法をすることができる。			○		・10と1位数の加法や逆の減法の計算ができる。	観察 発言 ノート
	8	20までの数の構成を和や差でとらえ、12+3、15-3などの計算ができる。			○		12+3、15-3などの計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明している。	観察 発言 ノート
4次	9	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。			○		・基本的な学習内容を身につけている。	観察 ノート

2年生(全12時間)

次	時	学習内容	評価				評価方法	
			関	考	技	知		
1次	1	3位数の読み方や表し方を理解する。	○				・クリップの数を10や100のまとまりにして数えようとしている。	観察 発言 ノート
	2				○	・3位数の読み方や表し方を理解している。		
	3	数カードを並べて数を表すことを通して、3位数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。				○	・3位数の各位の数字はそれぞれ、100、10、1の単位の個数を示し、10以上の数が入らないことを理解している。	観察 発言 ノート
	4			○		・3位数の位取りのしくみや構成を言葉や式で表すことができる。		
	5	数の相対的な大きさを理解する。		○			・230などの数を、10を単位としてとらえることができる。	観察 発言
	6	数直線の読み取りを通して、3位数の大小、順序を理解する。			○		・数直線上に表された数を読んだり、数を数直線上に表したりすることができる。	発言 ノート
	7	1000の構成、数の読み方、書き方及び1000付近の数を理解する。				○	・百を10こ集めた数を「千」といい、「1000」と書くこと、及び1000付近の数を理解している。	発言 ノート
	8	1000までの数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。		○			・1000までの数の多様な見方について考え、説明している。	観察 発言
2次	9	何十+何十、何十-何十、何百+何百、何百-何百などの計算の仕方を理解し、その計算ができる。			○		・何十+何十、何十-何十、何百+何百、何百-何百などの計算ができる。	発言 ノート
3次	10	不等号「>」「<」を知り、数の大小関係を式に表すことができる。				○	・不等号「>」「<」の意味を理解している。	観察 発言 ノート
	11	数や式の大小、相等関係を不等号、等号を用いて式に表すことができる。			○		・数や式の大小、相等関係を不等号、等号を用いて式に表すことができる。	
4次	12	算数的活動を通して学習内容の理解を深め、数についての興味を広げる。	○				・学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。	観察 発言

5, 本時の指導

(1) 目標

20までの数の数え方の理解を深める。

(2) 展開

学 習 活 動	支援○と評価【】
1, 算数ブロックの数を数える。	○ワークシートを利用する。
3, 本時の課題を知る。 かずをくふうして数えよう	
4, 数え方の工夫を思い出す。	○印をつけて数えることや10のまとまりに目をつけることを確認しておく。
5, 10のまとまりをつかって、数える。	
6, 適用問題に取り組む。	○終われば2人で答え合わせをしていく。 【技】観察 発言
7, まとめて数える(2とびや5とびの数え方)方法を知らせる。	○まとめて数えるよさを考える。
8, 学習のまとめをする。 おおきなかずはしるしをつけて数える。 10のまとまりをつくる。 2とびや5とびをつかう。	
9, 次時の予告をする。	

(1) 目標

・数カードを並べて、各位には10以上の数が入らないことがわかり、3位数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。

(2) 展開

学 習 活 動	支援○と評価【】
1, 数カードを並べて、読んだり書いたりする。	○リーダーを中心に復習をしていく。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     〈リーダーメモ〉                      ①ホワイトボードに書いてください。                      ②ホワイトボードを出してください。                      ③ノートに読み方と書き方を書いてください。                      ④答え合わせをしましょう。                      ⑤自分で問題をつくりましょう。                 </div>	
2, 本時の課題を知る。 3けたの数を数カードや数字で表そう	
3, 位取り板に数カードを並べ、3位数を読んだり、書いたりする。	○PCを利用し、全員で考えられるようにする。
4, 空位の場合について話し合う。	【知】発言 ノート
5, 学習のまとめをする。 それぞれの位の数が10こになったら、1つ大きい位にうつる。	
6, 適用問題をする。	○数カード→数字 数字→数カードの両方の活動から、各位の数字の意味をわからせるようにする。
7, 次時の予告をする。	

(3) 準備物 算数ブロック(1年) 位取り板、数カード(2年)  
プロジェクター、パソコン